

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さや強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第6号
(R8.6.22)

坂田小学校
校長 金城美奈子



～平和集会開催～ 「平和への誓い」

6月22日(月)に全校で平和集会を行いました。沖縄でも戦争があった事実を知り、平和の大切さを考えることを目的とした集会です。今年度は「読みあいネットワーク喜楽星7」の皆様による『なきむしせいとく』の読み聞かせに続き、6年生全員が「平和のメッセージ」と歌『いのちのリレー』を発表しました。中でも「戦争を起こすのも起こさないのも人間」「当たり前ができる」「当たり前でできる 私たちに何ができるか」「願う平和から創る平和へ」と力強く語る姿が大変印象的でした。また、全校児童で『沖縄から平和の歌を』を合唱しました。さらに海勢頭豊さんから『月桃』誕生の経緯および歌詞の意味についての説明を聞いた後、ご本人のギター演奏と金城愛さんのバイオリンに合わせて、児童皆で歌詞の意味を噛みしめながら歌い、命の尊さと平和への思いを深めることができました。子どもたちは、日々の生活の中で相手を思いやる行動や言葉を選ぶことも「平和づくりの一步」であることに気付くことができました。ご家庭でも「平和について」話題に上げ、子どもと一緒に考える機会にして欲しいと思います。



～きらり輝く坂田っ子～

本校では、今年度重点的に取り組む事として、「主体的に学習する子を育てる」ことを掲げています。そこで、大切なのが「自分で考えて行動する子」の育成です。4月に入ってから日に日に主体的に行動する児童が増え始めています。朝の活動では、6年生は各自委員会の仕事をこなすだけでなく、他の掃除を手伝ったり、下級生のお世話を率先して行う子がいます。また、その姿に感化されて自ら挨拶運動に立っている4年生や5年生児童もいます。朝、登校してからの短い時間ではありますが、互いに協力して、働く姿はどの子もキラキラ輝いています。早登校の習慣が身についている坂田っ子の皆さんには感心させられます。さらに、6月22日～6月29日までの期間、生活委員会と児童会がコラボし、「色んな国の挨拶や風習を知る」ことを目的に、あいさつweekと題して、正門前の挨拶運動では、他国の挨拶を行います。子ども達が主体的に動いて、企画した内容になっています。自分達で楽しい学校にするために企画・運営をする6年生と共に主体的に挨拶運動をする子どもがたくさんいます。



第一回 学校運営協議会開催

5月29日(金)に第一回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会で学校経営方針について説明し、学校と地域の連携・協働にむけて話し合いを行いました。

学校運営協議会の目的は、「協議会は、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、西原町教育委員会及び学校の校長の権限と責任の下、地域の特色を活かし、保護者及び地域住民等の学校運営への参画と協働を進めることにより、学校と地域住民等との双方向の信頼関係を深め、西原町の子どもの豊かな学びと育ちを創造すること」となっています。

昨年に引き続き今年も年間4回の開催予定です。



【学校運営協議会委員の紹介】(敬称略)

城間勝(元中学校校長)、与儀朝栄(幸地ハイツ自治会長)、翁長勲(幸地自治会長)、笹倉絹代(西原町観光まちづくり協会)、比嘉良洋(坂田こども園園長)、渡口勝也(PTA会長)、山城愛(地域コーディネーター)、金城美奈子(校長)、砂川成人(教頭)、兼次順子(教務主任) 以上10名